

平成25年度事業報告

平成25年度の日本経済は、政権交代によるアベノミクス効果で円安、株高が進み自動車産業をはじめ輸出関連企業は近年にない大幅な増収増益をもたらしました。また、第二の矢である国の大規模な公共投資で建設業界などは人手不足を招くまでの状況の需要が高まりました。

また、春闘に向け、政府主導の賃上げで内需拡大という方針の下、大手企業等はそれに呼応しベースアップに踏み切り好況感を醸し出しました。

しかしながらこうした政府主導の好況感は中小製造業においては規模や業種によって違いは見られますが、大方は未だその効果は届いていないというのが実感です。

一方で、ものづくり製造業においては大手企業の生産の海外シフトが続き、国内の景況感とは別に国内生産比率が確実に下がっており、国内の下請け中小企業は先行きの不安が高まっている状況です。

4月からの消費税増税を控え年度後半には駆け込み需要で3月期の業況は自動車業界等は大幅な増収増益となりました。しかし、増税直後の4－6月期の反動減が予想され、今後は7月以降の景気の戻りが正念場と考えます。

こうした中、横浜市工業会連合会としましては、平成25年度も地域工業会の声を反映した活動ができるよう、各委員会で議論し検討した結果に基づき事業を進めてまいりました。特に厳しい経営環境を背景に企業が孤立しがちの状況の中、会員企業との意思疎通を重要な視点におき、情報提供と昨年に引き続き情報システムの充実を行いました。また、中小企業支援等の政策立案を横浜市と協議しました。

これらと合わせ既存事業につきましても着実に進めました。特に横浜産貿ホールにおきましては耐震工事とスライディングウォールの更新を行い展示機能のリニューアルを図りました。

I ものづくり活性化事業

1 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

（1）地域工業会との連携強化に向けた市工連委員会の活動

市工連としての意義が求められている中で、多くの地域工業会代表が参加し、意見交換やその結果が反映されるよう、委員会の活性化を通して課題解決に向けた活動に努めました。

ア 5委員会の開催延べ回数：9回

（委員会別開催実績等はVの総会、理事会、委員会等のとおり）

（2）横浜市と本会との施策検討会の運営

実効性のある横浜市の中小企業振興策の立案・実施に向け、行政とともに考える場を設置し、具体的、かつ実効性の高い施策検討協議を行いました。

（3）産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、上記（2）の施策検討会での協議を活かして、ものづくりを中心とした振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、林横浜市長に「平成26年度予算に対する要望」として提出しました。

ア 提出日 平成25年10月21日(月)
イ 場 所 市役所応接室
ウ 出席者 林横浜市長、経済局長ほか
佐藤市工連会長、各地域工業会会長ほか
エ 要望書概要

(ア)重点要望事項 2件
・受注開拓が効果的に進められる施策の推進
・横浜市と市工連の施策検討会の継続
(イ)局別要望事項 27件

(4)他都市工業団体等との連携

ア (社)みやぎ工業会との意見交換会 1回

2 ものづくりネットワーク形成促進事業

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供を行うなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1)受発注相談

(電話・FAX・Eメール等による受発注相談)

ア 相談件数：114件(商談会によるもの98件)

イ 成約成立：5件、不成立：5件、次年度へ継続：104件

(2)商談会等の開催

ア 受・発注商談会(川崎開催)

日 時 平成25年9月5日(木) 9:00~17:45

会 場 川崎市産業振興会館 1階ホール

主 催 (公財)神奈川産業振興センター、川崎市、
(公財)川崎市産業振興財団、川崎商工会議所、川崎信用金庫、
市工連、横浜市

参 加 313社(発注42社・受注271社)・商談件数 818件

内 容 当日の混乱を回避するため、発注企業及び受注企業の「事前マッチング方式」により運営しました。

イ 受・発注商談会(横浜開催)

日 時 平成26年2月5日(水) 10:00~17:35

会 場 パシフィコ横浜2F アネックスホール

主 催 (公財)神奈川産業振興センター、横浜市、市工連、川崎市、
(公財)川崎市産業振興財団、横浜信用金庫

参 加 349社(発注56社・受注293社)・商談件数 1,019件

内 容 事前マッチング方式をとり、人気発注企業ブースを一部分割し、受注企業の満足度向上を図りました。発注企業1社当たり20商談を上限に商談時間を15分としました。

(3)横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

横浜ネットワークプラス（受注・発注マッチングサイト）をPRするとともに、会員数の拡大やサイト掲載内容の更新等を行いました。

ア 参加企業加入促進のためのPR活動と会員数拡大

「横浜ネットワークプラス」会員数のアップ：13社新規加入（計414社）

イ 発注案件の登録・公開と受注企業の検索紹介

受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・掲載・更新するとともに、発注案件に対し受注企業を検索し紹介を行いました。

3 テクニカルショウヨコハマ2014

「未来につながる新たな技術」を主要テーマに、県内に立地する事業所等の技術・製品を展示して、技術力の向上とビジネスチャンスの創出を促進するため、(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により開催しました。

(1)開催概要

ア 開催期間 平成26年2月5日（水）～2月7日（金）3日間

イ 会場 パシフィコ横浜展示ホールC・D

ウ 出展数 556社・団体

エ 小間数 433小間

オ 入場者数 29,710人

(2)横浜市ブースの開催

横浜市・都筑区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2014に「横浜市ブース」を開催し、地域工業会会員に加え、横浜青年経営者会が団体として出展しました。

ア 出展企業 49社3団体

(3) 記念講演会（本会主管併催事業）

ア 日 時：平成26年2月5日（水）14:00～15:30

イ 会 場：パシフィコ横浜2階 アネックスホール

ウ 講 師：福井県立大学 特任教授 中沢 孝夫氏

エ テーマ：「グローバル化の中の中小企業経営」

オ 参加者：136名

4 ものづくり人材育成支援事業

(1)新入社員合同研修

「帆船日本丸」における甲板みがき、漕艇、登檣、結索などの訓練を含めた研修により、忍耐力や協調性、連帯感などを新入社員に体験させることを通して、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

ア 開催日 平成25年4月11日（木）～12日（金）（1泊2日）

イ 会 場 帆船日本丸、同訓練センター等

ウ 参加者 17社 42名（男性32名 女性10名）

エ 研修内容 (テーマ及び指導者・講師)

- ①船上訓練、カッター訓練 日本丸船長、航海士、乗組員等
- ②講義 (社会人としての意識を持つ、ビジネスマナー、)
- ③グループ討議 (学生時代と社会人の違い)、(理想の社会人となるために)
株式会社スリーマインド教育センター 澤田 顕氏・鞠子みちる氏
- ④講義「海に学ぶ (シーマンシップ)」 日本丸船長 山本 訓三氏

(2) 就職に関する懇談会等の開催

神奈川県内の高校卒業生の地元中小企業への就業を促進するため、県内高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を開催しました。

- ア 日 時 平成25年6月10日(月) 14:00~18:00
- イ 会 場 神奈川県民ホール 6階 大会議室
- ウ 参 加 神奈川県立神奈川工業高校 等 29校31名
会員企業等27社32名、ハローワーク

(3) 出張講座の開催

神奈川県内の高校生に対し、ものづくり産業・中小製造業の果たしている役割などを伝えるため高校へ直接出向き講習を行いました。

①神奈川県立川崎工科高等学校

- ア 開催日：平成25年6月25日(火) 14:25~15:15
- イ 会 場：神奈川県立川崎工科高等学校 体育館
- ウ 対象者：1年生 230名
- エ 講 師：株式会社イシイ精機 代表取締役 堺 裕之氏
- オ テーマ：「小さな会社の大きな役割」

②神奈川県立藤沢工科高等学校

- ア 開催日：平成25年11月29日(金) 13:30~14:20
- イ 会 場：神奈川県立藤沢工科高等学校 体育館
- ウ 対象者：1年生 238名
- エ 講 師：経済産業省クールジャパンの芽事業
全国製造業コマ大戦協会プロジェクト プロデューサー 長島 敏晴氏
- オ テーマ：「働くこととは⇒就職、を考える」

(4) 工場見学会の開催

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者の育成を図るため、就職指導教員と学生を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を実施しました。

①神奈川県立東部総合職業技術校

- ア 実施日 平成25年8月7日(水)
- イ 見学企業 1社 (有)大同製型)
- ウ 参加者 延べ4名

②横浜市立戸塚高校定時制

- ア 実施日 平成26年3月27日(木)

- イ 見学企業 3社（日本軸受加工(株)、東洋測器(株)、(株)東京ダイス）
- ウ 参加者 延べ9名

(5) 横浜型若者就労支援事業

横浜市経済局雇用労働課が行った「横浜型若者就労支援事業」について、横浜市内中小製造業をよく知る本会として専門研修・企業実習で協力し、若年層の雇用に結びつけました。募集企業、求職者ともに双方の理解を深めた上で、採用に至ることで本事業は高い評価を得ました。

- ア 求人企業数 20社
- イ 採用決定 3社 5名

5 情報発信事業

(1) インターネットを活用した情報提供

- ア ホームページの運営
緊急、重要な情報の提供に努めました。
- イ メールマガジン「市工連ニュース」の発行
平成25年4月 4日 第269号発行から
平成26年3月17日 第295号発行まで 27回発行
配信先 工業会会員等約600件

(2) 機関誌の発行

- ア 機関紙「よこはま市工連」の発行
年間2回発行 7月号2,300部、1月号2,500部発行
平成26年7月（70号）、27年1月（71号）
- イ 広報誌「市工連かわらばん」の発行
年間6回発行 各回2,600部配布
平成25年5月（140号）から26年3月（145号）まで隔月発行

(3) 情報システムの再構築

地域工業会・会員企業への情報伝達の合理化・迅速化、及び会員企業間の交流を図るよう、情報受伝達システムの再構築を図りました。

(4) 重要情報の一斉ファックス送受信

上記システムへの移行期の対応として、一斉ファックスのシステムを活用して、就職懇談会等の情報や、3Dプリンターについてのアンケート依頼など、各地域工業会会員にファックスで伝え、情報の受伝達の手法検討を進めました。

- ア 送付件数 3件

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

新たな顧客の獲得を目指しホームページの内容の改善・充実を継続して行いました。また、展示場機能の維持管理に努めました。主な取り組みは、次の通りです。

- ① ホール内にある柱の耐震工事を行いました。(平成25年7～8月)
- ② ホール内にあるスライディングウォールを経年劣化のため更新しました。
(平成26年3月)

他方で、耐震工事に伴う、閉館に対しては、当該期間の賃借料の支払い免除等を受け、事業収支の安定を図ることが出来ました。

その他、お客様の計画達成に向け、計画に係る他業者様との連携を図りました。

2 鳥浜・試作型貸スペース(T3)事業

平成25年度は入居企業が3社となり、事業収支は安定しましたが、年度末に退去企業があり、今後新たな入居企業の開拓等が一層求められます。

III 会員の交流を深める事業(相互扶助事業)

賀詞交歓会など会員の交流を図るとともに、ボウリング大会の開催や、「横浜市工業厚生年金基金」、「災害共済」、「労災保険」、等工業会会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行いました。

また、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き本会独自のPL保険の加入促進を図りました。

1 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

鶴見区工業会・みなと工業会 設立30周年記念事業への助成、及び横浜青年経営者会の活動への支援を行いました。

2 第10回市工連ボウリング大会の開催

工業会会員並びに従業員相互の交流を深めるため、地域工業会から選出されたチームによる第10回市工連ボウリング大会を開催しました。

ア 日 時 平成25年11月22日(金) 19:00～

イ 会 場 新杉田ボウル

ウ 参 加 19チーム 57名

3 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」の提案により、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

ア 表彰日 平成26年1月10日(金)

イ 会 場 ホテル横浜ガーデン

ウ 被表彰者 6社 7名

IV 法人運営

総会、理事会の開催など団体運営に努めました。

V 総会、理事会、委員会等

(1)総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月20日 (木)	定時総会	・平成24年度事業報告 ・同 収支決算報告 ・理事、及び監事の選任について ・一般社団法人移行後の総会の運営について ・平成25年度委員会委員について ・平成25年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について	横浜国際ホテル
3月26日 (水)	予算総会	・平成26年度事業計画について ・平成26年度予算について ・会計士の監事の報酬について ・経営安定調整基金の取り崩しについて	産業貿易センター

(2)理事会、会長会議、各委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5月9日 (木)	広報産学委員会	・よこはま市工連第68号の発刊計画 ・第68号掲載内容について ・市工連の情報伝達方法についての検討	横浜産貿ホール 小展示室
6月7日 (金)	工業会会長会議	・平成25年度横浜市予算に対する要望への回答について ・理事・及び監事の選任について ・一般社団法人移行後の総会の運営について	産業貿易センター
6月17日 (月)	総務委員会	・平成25年度定時総会・第1回理事会の議案について ・平成24年度事業報告 ・同 収支決算報告	横浜産貿ホール 小展示室
6月20日 (木)	第1回理事会	・平成24年度事業報告 ・同 収支決算報告 ・一般社団法人移行後の理事会の運営について ・平成25年度委員会委員について ・平成25年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について	横浜国際ホテル
7月11日 (木)	広報産学委員会	・よこはま市工連68号発刊後のご意見 ・情報インフラ整備事業について	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
7月8日 (月)～ 9月17日 (火)	施策検討会	横浜市課長職以下13人 地域工業会推薦14人 グループに分け延べ14回開催 ①経済政策ビジョンについて ②25年度開始の新規事業について ③販路開拓支援策について	(財)横浜企業 経営支援財団
8月5日 (月)	政策委員会	・平成25年度横浜市に対する政策要望 の実績について ・平成26年度横浜市に対する政策要望 のすすめ方について	横浜産貿ホール 小展示室
9月3日 (火)	事業企画委員会	・ボウリング大会の検討 ・横浜型若者就労支援事業について ・テクニカルショウヨコハマ2014 ・すぐれたアイデア表彰について ・横浜市「BCP策定のための基礎調査」 への協力について	横浜産貿ホール 小展示室
10月1日 (火)	政策委員会	・経済成長育成ビジョン（仮称）につい て ・平成26年度横浜市予算に対する産業 振興に関する要望書について	横浜産貿ホール 小展示室
10月2日 (水)	雇用環境委員会	・横浜型若者就労支援事業について ・電力料金の低減対策について	横浜産貿ホール 小展示室
10月21日 (月)	工業会会長会議	・経済局との意見交換会 ・横浜市長への予算要望書提出	横浜市庁舎 1階市民 ホール
11月28日 (木)	広報産学委員会	・第69号の発刊計画について ・第69号掲載内容について ・会員企業情報の発信について	横浜産貿ホール 小展示室
12月2日 (月)	正副会長会	・役員改選について	中華街 菜香新館
3月17日 (月)	総務委員会	・平成26年度事業計画について ・平成26年度予算について ・会計士の監事の報酬について ・経営安定調整基金の取り崩しについて	横浜産貿ホール 小展示室
3月26日 (水)	第2回理事会	・平成26年度事業計画について ・平成26年度予算について ・会計士の監事の報酬について ・経営安定調整基金の取り崩しについて	産業貿易センター
3月26日 (水)	工業会会長会議	・役員改選について	産業貿易センター

(3)平成26年賀詞交歓会の開催

日	時	平成26年1月10日(金)	16:00～18:00
会	場	ホテルキャメロットジャパン	4階フェアウインドウの間
参加者数		137名	

(4)地域工業会事務局長会議

事務局長会議を次の通り開催し、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

〈25年〉4月17日、5月15日、6月19日、7月24日、9月18日、
10月22日、11月19日、12月18日

〈26年〉2月19日、3月19日